

課題を解決したくなる単元づくり

1. 単元名 社会科「6 江戸幕府と政治の安定」 ※総合的な学習の時間の学習との連携を図る
2. 単元の目標 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の施策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする。

「江戸幕府はなぜ江津本町を直轄地(天領)にしたのか」を調べ、江戸幕府の統治のしくみについて考える。



江戸時代の江津本町の様子を、資料を調べたり、専門家の話を聞いたり、フィールドワークをしたりして調べ、プレゼンテーションソフト等を使ってまとめ発表する。

プロセス	課題設定	情報収集	整理分析	まとめ・表現	評価
プロセスの内	「江戸幕府はなぜ江津本町を直轄地(天領)にしたのか」を調べて、持田さんに発表しよう。	学習課題に応じ、パンフレットやweb、専門家へのインタビュー、フィールドワーク等で調べる。	・伝えたいことがらに合う資料を選択する。 ・話す順に資料を整理する。	・発表原稿を作り、プレゼンテーションソフトを使ってまとめる。	・学習をふり返ろう ・発表を録画したビデオを見て、評価カードに自己評価をする。
情報活用能力	自分の学習課題や、課題解決のための方法、手順などを研究計画書にまとめる	・インタビューを行い、質問する。 ・webで複数キーワードを使って検索ができる。	・複数資料から課題解決につながる情報を選ぶ。 ・収集した複数の情報を、テーマに沿って整理する。	・プレゼンテーションソフトを使うことができるようにする。 ・年表や写真などを効果的に用いる。	友達の記事をビデオで撮る。
学習活動・教師の手立て	・江戸幕府は主な鉱山や重要な都市を直接支配し、鳥根県では石見銀山と江津本町を直轄地(天領)とした。鉱山町ではない江津本町を江戸幕府はなぜ直轄地にしたのか、総合的な学習の時間に調べたことも交えながら、まとめる。 ・伝える相手として、市教委文化財専門職員の持田直人氏を設定し、相手意識と伝える必然性を持たせる。	・教師がパンフレットやハンドブックを事前に一部収集し、どこで手に入れられるかを紹介する。児童が、下校後や休日に自分で集められるようにする。 ・自学などで、事前に資料を読んだり、自分の発表に必要なと思われる箇所に印をつけたりするよう促す。	・話す内容の柱を決め、それに合った資料を選択する。透明の袋付きのファイルに話す順序で入れられるようにする。 ・必要な資料をスキャナーで読み取り、プレゼンテーションで使えるようにする。	・「話すスピード」、「わかりやすさ」、「伝える工夫」といったプレゼンテーション制作の視点を与える。 ・図や写真、グラフ等の資料をどのように使えばよいか、教師がデモンストレーションする。 ・質問を予想し、答え方を考える。	・友達の記事を聴いて、評価カード(◎○やコメントを記入)を書く。 ・児童の記事から、江戸幕府が江津本町を直轄地(天領)にした理由をまとめる。 ・持田さんから批評をいただく。

